

令和5年産 美里地区の稲作情報

宮城県美里農業改良普及センター

第6号 令和5年7月11日発行

TEL:0229-32-3115 FAX:0229-32-2225

http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/



1. 気象経過

～高温続く。6月の月間平均気温は観測史上1位～

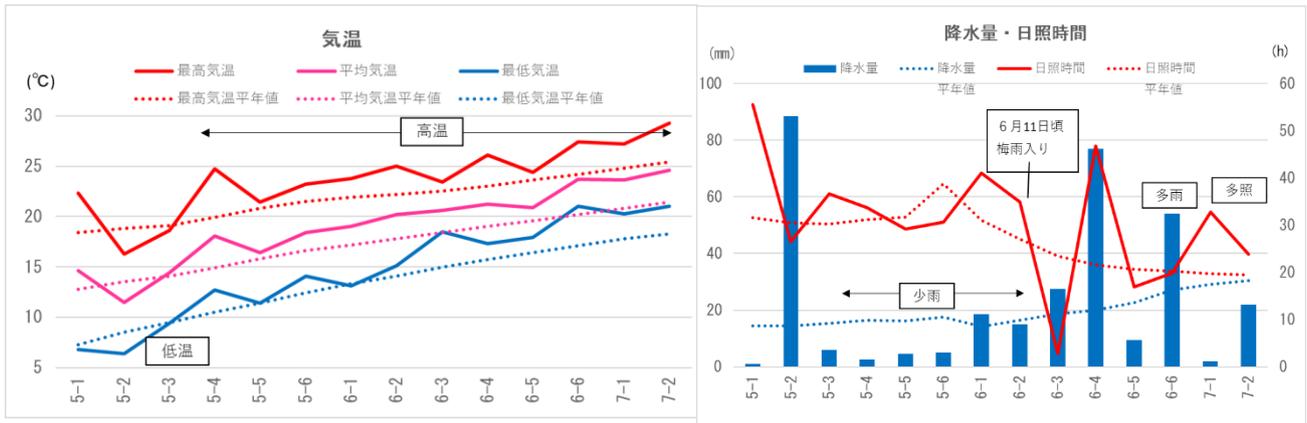


図1 半月別気象経過（鹿島台アメダス）

梅雨明けはしていないものの、7月に入って以降は気温は高く、日照時間は長く、降水量は少なく推移し、真夏のような天候が続いています。

2. 管内生育調査ほの生育概況

- ・ 移植では中干しは終了してください！
- ・ 生育が早まり、中生品種は幼穂形成期過ぎ。

表1 生育調査結果

調査地点	品種	区分	田植日	6月30日調査結果				7月10日調査結果					
				草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	幼穂長 (mm)	
移植	涌谷 (小塚)	ひとめぼれ	本年値	5月9日	59.5	541.2	9.4	42.4	75.8	490.6	10.5	40.4	8.4
			前年比・差	+2日	125%	149%	1.3	91%	111%	92%	▲0.5	110%	5.8
			県平年比・差	-4日	117%	101%	▲0.7	100%	122%	93%	▲0.4	100%	5.8
	田尻 (桜田高野)	ひとめぼれ	本年値	5月4日	62.2	542.6	9.4	41.4	75.2	516.8	10.6	38.8	4.1
			前年比・差	-1日	132%	132%	1.2	91%	102%	102%	▲0.5	102%	0.6
			平年比・差	-5日	119%	101%	▲0.7	91%	117%	127%	▲0.4	90%	2.0
	鹿島台 (広長)	ササニシキ	本年値	5月12日	55.9	556.9	9.4	38.8	70.9	586.0	10.7	36.6	2.5
			前年比・差	-2日	131%	147%	1.6	90%	103%	112%	▲0.6	95%	1.4
			県平年比・差	+3日	115%	90%	▲0.4	95%	118%	98%	0.0	95%	1.0
	鹿島台 (木間塚)	だて正夢	本年値	5月21日	53.5	376.8	9.1	43.8	66.8	379.9	10.4	38.9	0.9
			前年比・差	+6日	121%	205%	2.1	101%	81%	75%	▲0.6	91%	0.2
			平年比・差	+6日	98%	79%	▲1.0	92%	95%	82%	▲0.6	85%	0.4
南郷 (和多田沼)	金のいぶき	本年値	5月6日	52.2	488.3	9.8	38.5	69.3	513.2	11.2	35.2	1.0	
		前年比・差	±0日	128%	185%	1.6	92%	93%	77%	▲0.3	87%	0.4	
		平年比・差	+2日	99%	92%	▲1.0	93%	106%	104%	▲0.4	88%	0.2	
直播	小牛田 (荻塚)	ゆみあずさ 鉄コー	本年値	5月3日	45.4	312.1	8.0	-	66.6	411.8	9.4	34.6	0.4
			前年比・差	-3日	126%	215%	2.0	-	104%	68%	▲0.9	91%	▲0.4

※平年値は過去5年間の平均値。県平年値は県調査ほの平均値。

草丈：ササニシキを除き平年より長い 葉色：平年より淡いほ場が多い。 葉数：平年より少ない。

茎数：平年より少ないほ場もあるが、おおむね十分。

幼穂長：移植では平年より進んでいる。

3. 今後の栽培管理

(1) 生育ステージ

表2 生育ステージの予測値 (7月10日現在)

移植日	幼穂形成期	減数分裂期	出穂期
5月1日	6/28~7/2	7/8~7/12	7/25~7/29
5月5日	6/30~7/4	7/10~7/14	7/27~7/31
5月10日	7/2~7/6	7/12~7/16	7/29~8/2
5月15日	7/4~7/8	7/14~7/18	7/31~8/4
5月20日	7/8~7/12	7/18~7/22	8/4~8/7

※幼穂形成期、出穂期は主稈葉齢予測モデル(普及に移す技術第80号)を用い、ひとめぼれの移植時葉齢を2.5葉~3.5葉として予測。減数分裂期は幼穂形成期+10日として予測。

表3 幼穂長と出穂前日数

幼穂長 (mm)	生育ステージ	外形	出穂前日数
1	幼穂形成期	止葉抽出	25
2			20
8~15			18
30	減数分裂期		15
80			12
120			10
195			6
205		穂ばらみ始め	4
220			2~1
220		出穂	0

表2 および管内の田植盛期からは、出穂盛期は7月31日頃と予測されます(平年8月2日)。なお、表2は今後平年並みの気温で推移するとして算出したものであり、今後も高温が続けば出穂は早まります。

(2) 水管理

移植ではほとんどのほ場で幼穂形成期に達していますので、中干しは終了してください!

出穂前後は稲が水を必要とする時期です。出穂前までは間断かん水を基本とします。

☞幼穂形成期から減数分裂期にかけて日平均気温20℃以下、または日最低気温17℃以下が続く場合は、できる限りの深水管理を行きましょう。

※気象庁発表の2週間気温予報(下図:7月11日更新)では、この期間の低温の予報はありませんが、今後も最新の予報に注意してください。



(3) 追肥

生育が早まっていますので、表2、4を参考に早めに行いましょう。

表4 幼穂形成期および減数分裂期の生育量の目安と追肥量

品種	幼穂形成期(幼穂長1~2mm)				減数分裂期(幼穂長3~12cm)			
	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色 (SPAD値)	追肥量(標準) (窒素成分) (kg/10a)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色 (SPAD値)	追肥量 (窒素成分) (kg/10a)
ひとめぼれ	56~59	470~530	37~39	1.0	66~69	450~500	35~37	1.0
まなむすめ	65~70	580~600	35~37	2.0	-	500~550	36~38	-
ササニシキ	62~68	720~760	34~36	-	-	550~580	32~34	1.0~1.5
つや姫	70~75	550~580	35~37	2.0	-	-	-	-
だて正夢	64~70	390~460	40~42	-	76~82	380~420	37~39	2.0
金のいぶき	65~70	570~620	33~35	1.0	80~85	490~540	30~32	1.0
みやこがねもち	65~70	500~550	33~35	-	-	420~470	33~35	1.0

表 5 穂肥窒素の施用時期と影響

	穂数の増加	1穂穎花数の増加	1穂穎花数の減少防止	登熟の良化
幼穂形成期	○	◎	○	
減数分裂期		○	◎	◎

最新の東北地方の1か月予報では、今後1か月は高温で推移すると予測されています。**出穂後に高温が続く場合、品質の維持のために特に穂肥は重要です。**葉色、生育に応じて行いましょう！

(4) 病害虫防除 (発生量等の情報は、県病害虫防除所発生予察第6号(7/10発表)より)

1) いもち病 発生時期：平年並み (全般発生期7月第3半旬)、発生量：やや多
鹿島台アメダスの観測で7月以降、感染好適日が出現しています(1日、9日)。

※感染好適条件：葉いもちの大量感染に好適な気象条件(葉面湿潤時間10時間以上、平均気温15~25℃、前5日間の平均気温20~25℃)が出現した日。

ほ場を観察し、病斑を発見したら直ちに防除を行いましょう。防除にあたっては、病害虫防除所の防除情報(<http://www.pref.miyagi.jp/documents/45756/r05bojono02.pdf>)などを参考としてください。



進行型病斑

停滞型病斑

褐点型病斑

図2 いもち病の病斑

2) 斑点米カメムシ類 発生時期：やや早い 発生量：平年並

【発生源の管理】

水田周辺の牧草地等の草刈時期は7月中旬となっていますので、直ちに実施しましょう。

【水田の管理】

水田畦畔の草刈りは水稻の出穂10日前までに行いましょう。

【水田の薬剤防除】

- ① 基本の防除体系：1回目は穂揃期、2回目は穂揃期の7~10日後に実施しましょう。
- ② イヌホタルイ発生水田の場合：1回目の防除時期を早めましょう。1回目は出穂始~穂揃期に、2回目は穂揃期の7~10日後に実施しましょう。



図3 アカスジカスミカメの成虫

3) 紋枯病 発生量：平年並

発生量の予測は平年並みですが、高温多湿が発生を助長するとされており、特に6月後半の平均気温が高いほど穂ばらみ期の発病株率が高くなることがわかっています(普及に移す技術第95号)。また、昨年発生したほ場では伝染源が残っているため発生しやすくなります。本年は6月が高温でしたので、昨年の多発ほ場などでは必要に応じ薬剤防除を行いましょう。

熱中症対策強化期間（5月1日～9月30日）

- ① 高温時の作業は避けましょう
- ② 単独作業は避けましょう
- ③ 休憩&水分補給しましょう

暑い中での作業が避けられないときは、体を冷やすアイテム(ファン付き作業着やネッククーラー)や万が一に備えるための保冷剤などの準備を

～無事に家に帰るまでが農作業です。